

2016年3月期 第3四半期決算説明資料

2016年 2月 9日

喜びを創り喜びを提供する

 寿スピリッツ

<http://www.kotobukispirits.co.jp/>



証券コード 2222

目次

- 2016年3月期 第3四半期決算概要 P 1～13
- 2016年3月期 通期業績予想 P 14～17
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 18～42
- 株式の状況・株主還元 P 43～46
- 参考情報 P 47～58

2016年3月期 第3四半期決算概要

シュクレイを中心とする首都圏エリアの販売強化、インバウンド対策とアウトバウンド対策がいよいよ実績化しはじめ、そして商品のプレミアム化などの積極的な事業施策の遂行により、売上面・利益面ともに第3四半期累計期間での過去最高値を更新

2016年3月期第3四半期(累計)の業績ハイライト①

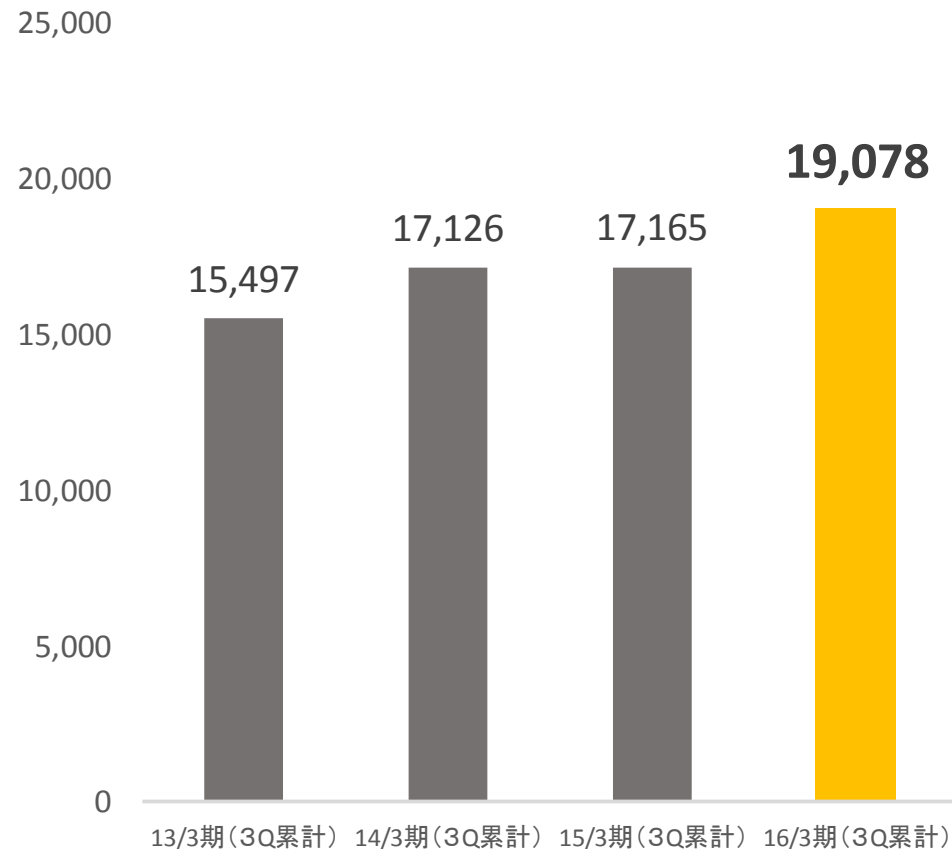
売上高



19,078 百万円
(前年同期比11.1%増)

●首都圏エリアでのWSR化展開の推進、インバウンド対策の強化、アジアを中心とした海外の事業モデルの構築などに注力を行った結果、第3四半期累計期間での過去最高売上を更新。

(単位:百万円)



2016年3月期第3四半期(累計)の業績ハイライト②

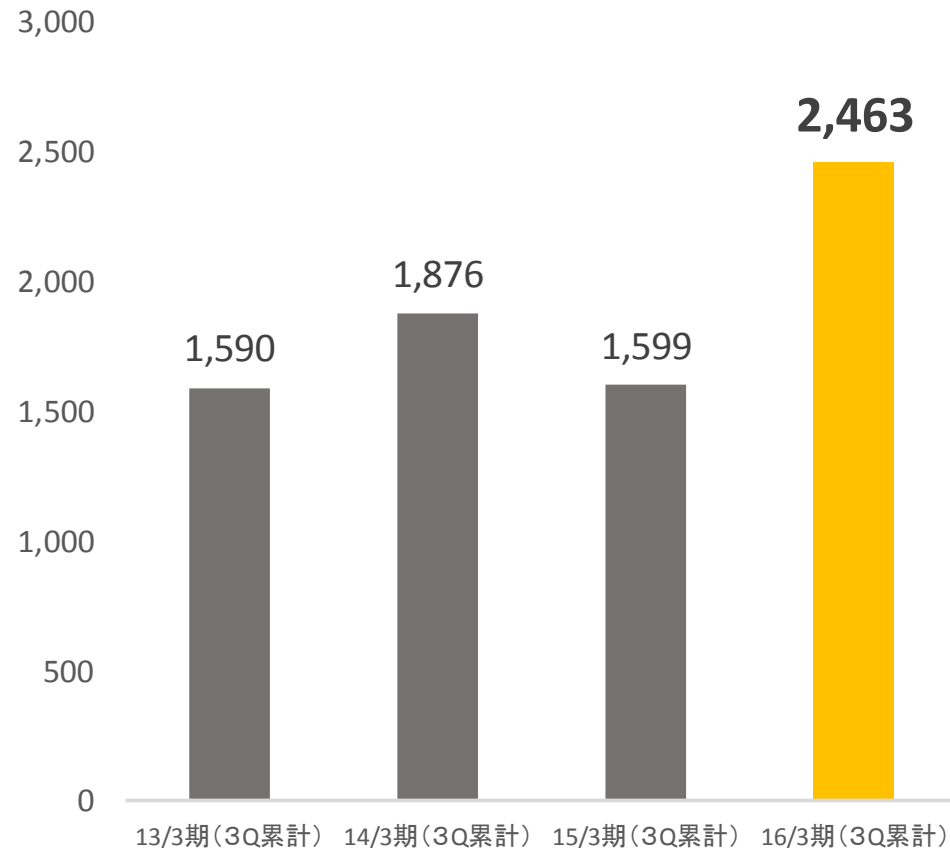
経常利益



2,463 百万円
(前年同期比54.1%増)

●増収効果に加え、製造採算の改善や経費の効率的使用に努めた結果、第3四半期累計期間での**過去最高益を更新**。

(単位:百万円)



2016年3月期第3四半期(累計)の業績ハイライト③

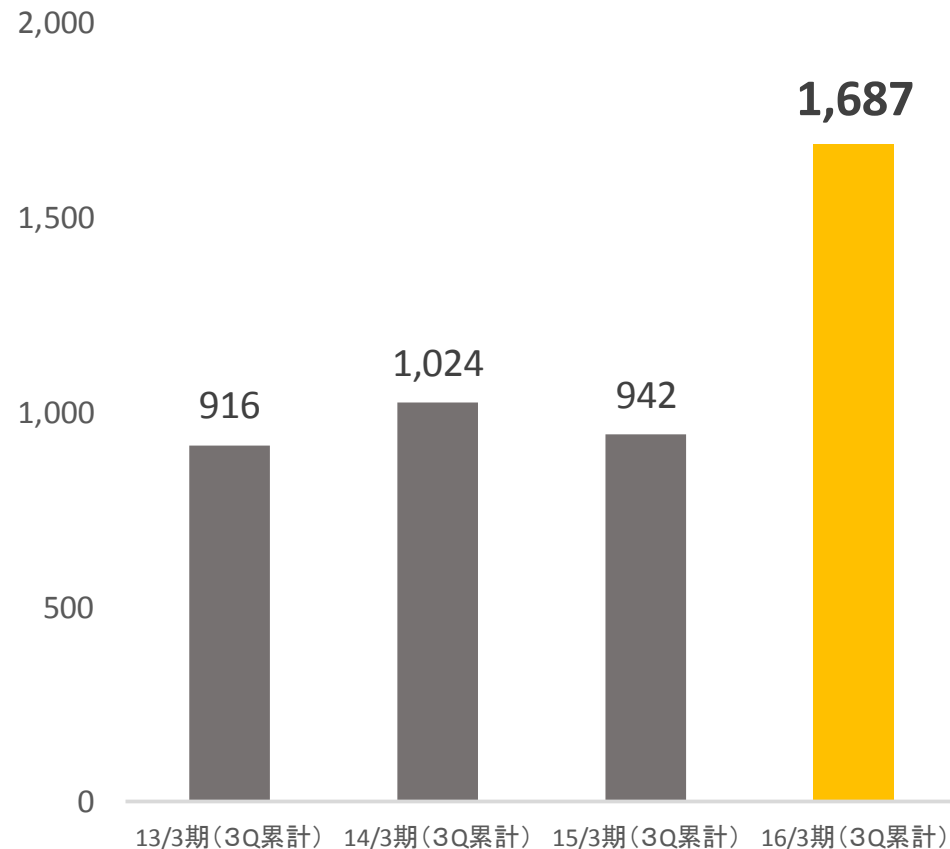
四半期純利益



1,687 百万円
(前年同期比79.0%増)

(単位:百万円)

● 経常利益の増益に加え、税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の追加計上により税金費用が減少したため、第3四半期累計期間での**過去最高益を更新**。



※四半期純利益＝親会社株主に帰属する四半期純利益

第3四半期累計期間(4~12月)のトピックス

シュクレイ 首都圏での積極的なイベント・販売展開により躍進！

(3Q累計売上高 **2,760**百万円 前年同期比 **+33.6%**/営業利益**325**百万円 同**+150.2%**)



羽田空港イベント連動催事



東京駅グランスタダイニング-目子ども店長

第3四半期累計期間(4~12月)のトピックス

海外展開

・東京ミルクチーズ工場を香港に初出店



東京ミルクチーズ工場



東京ミルクチーズ工場 香港展開

- ・上環(シェンワン)店 12月18日OPEN
- ・西貢(サイコン)店 1月9日OPEN



東京ミルクチーズ工場 上環 (シェンワン) 店

2016年3月期第3四半期(累計)業績(対前年同期)

売上総利益 前年同期比2.1ポイント増加

(百万円、%)	前第3四半期 (14年4月～12月)		当第3四半期 (15年4月～12月)		対前年同期		前期(参考) (14年4月～15年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	17,165	—	19,078	—	1,914	11.1	22,967	—
売上総利益	9,050	52.7	10,464	54.8	1,414	15.6	12,215	53.2
販売管理費	7,472	43.5	8,035	42.1	563	7.5	10,181	44.3
営業利益	1,578	9.2	2,429	12.7	850	53.9	2,034	8.9
経常利益	1,599	9.3	2,463	12.9	865	54.1	2,070	9.0
四半期(当期)純利益	942	5.5	1,687	8.8	744	79.0	1,305	5.7
EPS(円)	90.84		162.60		71.76	79.0	125.77	

※四半期(当期)純利益＝親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

セグメント別の業績(前年同期比)

シュクレイが大幅な増収・増益により躍進

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第3Q累計	当第3Q累計	増減額	増減率	前第3Q累計	当第3Q累計	増減額
ケイセイセイ	5,906	6,358	452	7.7	590	777	187
寿製菓	5,980	6,567	588	9.8	564	22	△ 542
販売子会社	3,402	3,762	360	10.6	180	283	103
九十九島グループ	2,589	2,703	114	4.4	139	122	△ 17
但馬寿	810	809	△ 1	△ 0.1	44	45	1
シュクレイ	2,066	2,760	694	33.6	130	325	195
その他	20	168	148	736.1	△ 52	△ 37	15
セグメント計	20,773	23,128	2,355	11.3	1,595	2,189	595
(調整額)	(3,608)	(4,050)	△ 442	12.2	(16)	239	256
合計	17,165	19,078	1,914	11.1	1,578	2,429	850

(2016年3月期第3四半期累計業績の主要セグメントの状況)

●ケイセイシイ 増収・増益

昨年3月にリニューアルした主力商品「ドゥーブルフロマージュ」のキャンペーン展開の推進、新千歳空港をはじめとする道内卸展開及びインバウンド対策の強化などに注力。海外展開では、昨年4月に韓国のパートナー企業とライセンス契約し、韓国ソウルにルタオ1号店を出店。

●寿製菓 増収・増益

山陰地区が低調に推移した一方、「ラングドシャ」や「フィナンシェ」など焼き菓子系商品を中心に代理店向け及びグループ会社向けの売上高が堅調に推移。

●販売子会社 増収・増益

駅・空港・SAなどの交通拠点チャンネルを中心に、主力商品及び新商品の売場獲得などに注力。主要地域では、関西地区が関西国際空港での販売強化などにより増収となったほか、福岡地区において、前期投入の新商品「まっかな苺のラングドシャ」の拡販強化が寄与し、堅調に推移。

●九十九島グループ 増収・減益

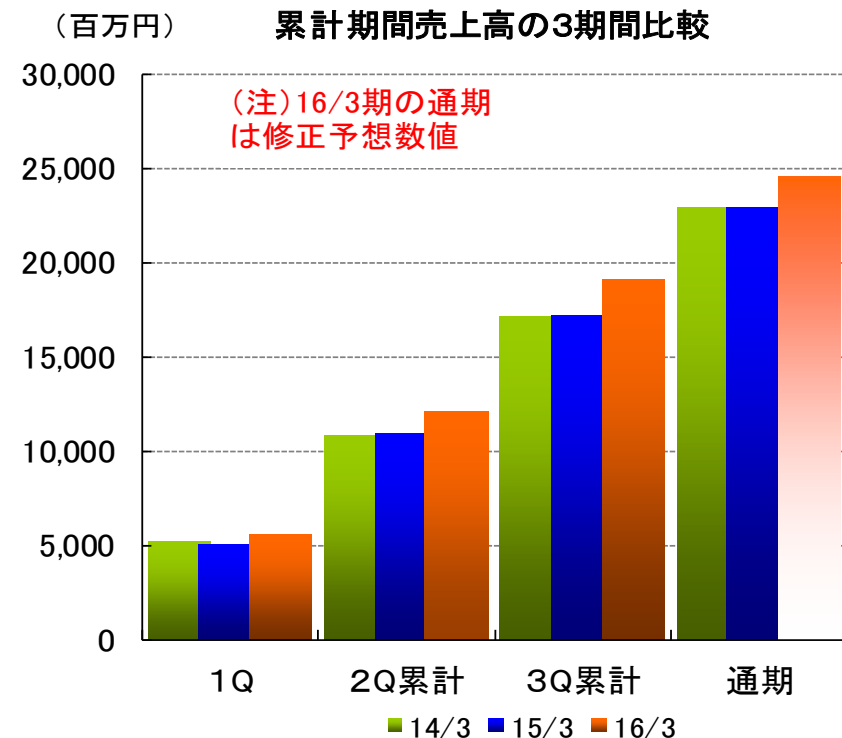
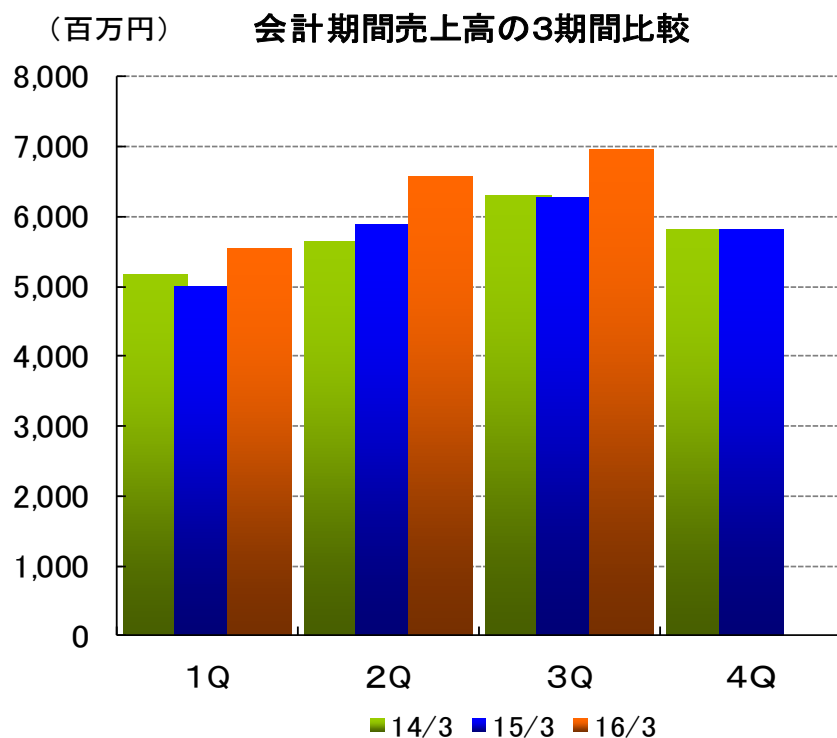
昨年10月にららぽーと海老名にフレンチトースト専門店「Ivorish(アイボリッシュ)」を新規出店したほか、12月にはJR博多駅の商業施設「マイング」のリニューアルに伴い、「赤い風船マイング店」を増床リニューアルするなど、店舗ブランドの展開を強化。

●シュクレイ 増収・増益

「ザ・メープルマニア」をはじめとする各ブランド訴求力の向上を図るため、イベントによる店頭販促の充実、催事の推進、接客力の強化に注力。海外展開では香港に合弁会社を設立し、昨年12月に「東京ミルクチーズ工場」の上環(シェンワン)店を出店し、海外での展開を開始。

四半期業績の推移(売上高)

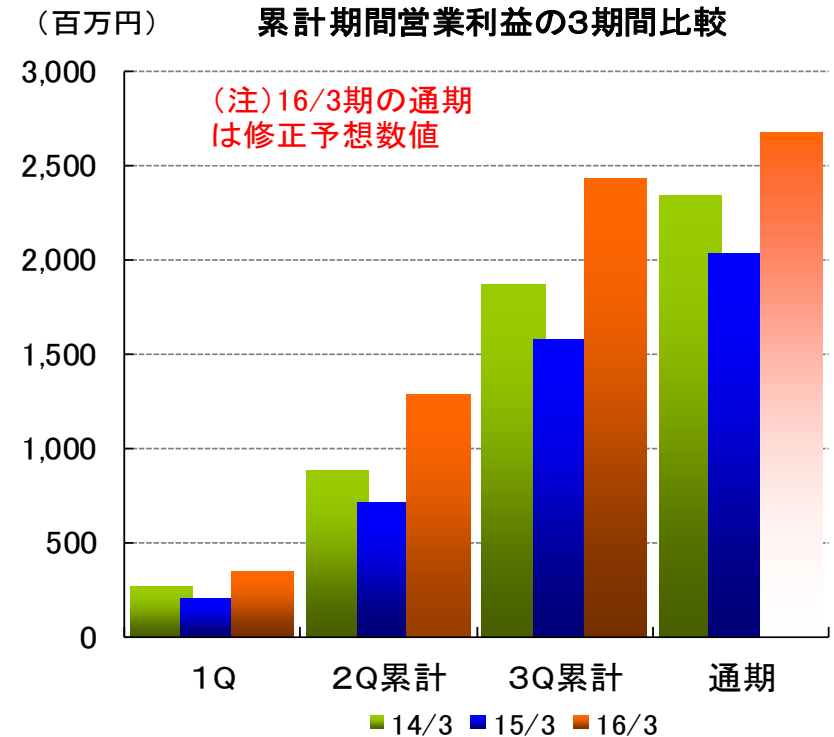
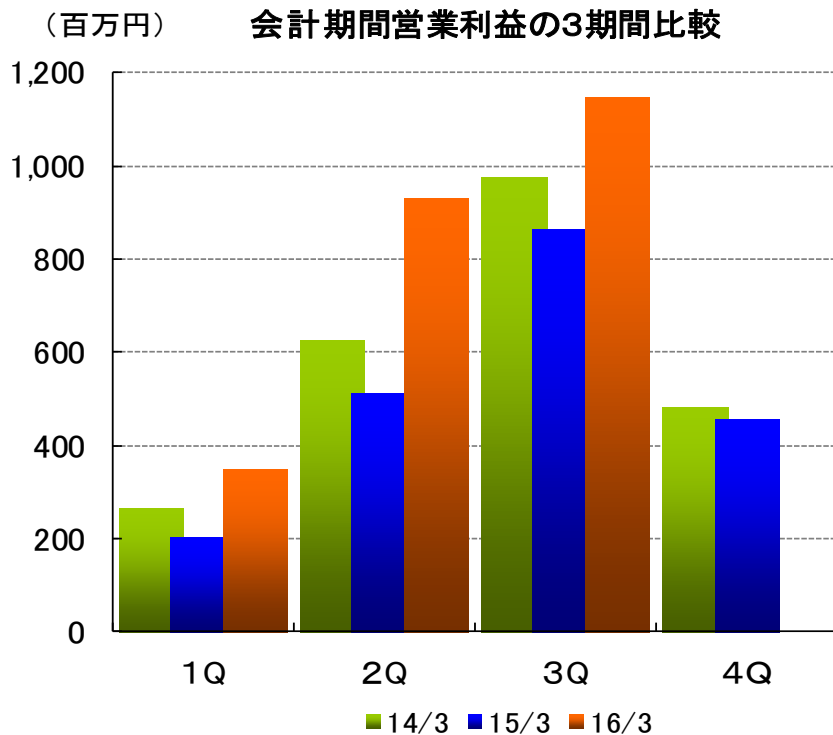
売上高 第3四半期会計期間11.0%増 累計期間 11.1%増



	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
14/3	5,185	5,638	6,304	5,820	5,185	10,823	17,126	22,947
15/3	5,001	5,889	6,275	5,802	5,001	10,890	17,165	22,967
16/3	5,542	6,569	6,968	-	5,542	12,111	19,078	24,560
増減率	10.8%	11.5%	11.0%	-	10.8%	11.2%	11.1%	6.9%

四半期業績の推移(営業利益)

営業利益 第3四半期会計期間32.6%増 累計期間 53.9%増



	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
14/3	263	624	975	480	263	887	1,862	2,342
15/3	202	510	866	455	202	712	1,578	2,034
16/3	350	931	1,148	-	350	1,280	2,429	2,675
増減率	73.4%	82.3%	32.6%	-	73.4%	79.8%	53.9%	31.5%

販売管理費・営業利益

販売管理費 対売上高比率1.4ポイント減

(百万円、%)	前第3四半期累計		当第3四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	9,050	52.7	10,464	54.8	1,414	15.6	12,215	53.2
人件費	3,095	18.0	3,334	17.5	239	7.7	4,150	18.1
販売促進費	1,336	7.8	1,371	7.2	35	2.6	1,856	8.1
運賃	583	3.4	602	3.2	19	3.3	816	3.6
広告宣伝費	174	1.0	149	0.8	△ 25	△ 14.1	243	1.1
地代家賃	770	4.5	927	4.9	157	20.4	1,040	4.5
減価償却費	230	1.3	237	1.2	7	3.0	316	1.4
旅費交通費	277	1.6	293	1.5	16	5.9	378	1.6
その他	1,006	5.9	1,121	5.9	115	11.4	1,382	6.0
販売管理費	7,472	43.5	8,035	42.1	563	7.5	10,181	44.3
営業利益	1,578	9.2	2,429	12.7	850	53.9	2,034	8.9

貸借対照表

自己資本比率 対前期比3.1ポイント増加

(百万円、%)	14年3月期		15年3月期		16年3月期3Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	6,580	45.2	6,606	45.0	7,522	47.4	916	13.9
固定資産	7,977	54.8	8,089	55.0	8,333	52.6	244	3.0
資産合計	14,558	100.0	14,695	100.0	15,855	100.0	1,160	7.9
流動負債	4,852	33.3	4,260	29.0	4,290	27.1	30	0.7
固定負債	1,656	11.4	1,456	9.9	1,381	8.7	△ 75	△ 5.2
負債合計	6,508	44.7	5,716	38.9	5,671	35.8	△ 45	△ 0.8
純資産	8,049	55.3	8,979	61.1	10,184	64.2	1,205	13.4
負債純資産合計	14,558	100.0	14,695	100.0	15,855	100.0	1,160	7.9
BPS(円)	775.95		865.60		981.77		116.17	13.4
設備投資額	854		599		616			
減価償却費	625		637		499			



2016年3月期 通期業績予想

2016年3月期 通期業績予想(前年対比)

売上高24,560百万円(前期比6.9%増)、経常利益2,700百万円(前期比30.5%増)

過去最高売上・最高利益突破を目指す!!

(百万円、%)	15年3月期		16年3月期(修正予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	22,967	-	24,560	-	1,593	6.9
売上総利益	12,215	53.2	13,365	54.4	1,150	9.4
販売管理費	10,181	44.3	10,690	43.5	509	5.0
営業利益	2,034	8.9	2,675	10.9	641	31.5
経常利益	2,070	9.0	2,700	11.0	630	30.5
純利益※	1,305	5.7	1,870	7.6	565	43.3
EPS(円)	125.77		180.27		54.50	43.3
1株当たり配当金(円)	40.00		40.00		-	-
設備投資	599		750		151	25.3
減価償却費	637		660		23	3.7

※純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

修正予想は2015年10月26日付公表数値

通期業績予想に対する進捗状況

公表予想に対する進捗率 売上高77.7%、経常利益91.2%

(百万円、%)	16年3月期 3Q累計		16年3月期(修正予想)		進捗率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	19,078	—	24,560	—	77.7
売上総利益	10,464	54.8	13,365	54.4	78.3
販売管理費	8,035	42.1	10,690	43.5	75.2
営業利益	2,429	12.7	2,675	10.9	90.8
経常利益	2,463	12.9	2,700	11.0	91.2
純利益※	1,687	8.8	1,870	7.6	90.2

(ご参考)過去の通期実績に対する第3四半期累計比率

	売上高	経常利益
2014年3月期	74.6%	79.4%
2015年3月期	74.7%	77.2%

※純利益＝親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益
修正予想は2015年10月26日付公表数値

2016年3月期 通期業績予想(セグメント別)

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	15/3月期	16/3月期 (修正予想)	増減額	増減率	15/3月期	16/3月期 (修正予想)	増減額
ケイシイシイ	8,331	8,639	308	3.7	957	1,022	65
寿製菓	7,482	7,956	474	6.3	535	631	96
販売子会社	4,434	4,708	274	6.2	225	295	70
九十九島グループ	3,409	3,594	185	5.4	149	159	10
但馬寿	998	1,005	7	0.7	24	19	△ 5
シュクレイ	2,795	3,431	636	22.8	149	296	147
その他	26	246	220	835.9	△ 64	△ 54	10
セグメント計	27,476	29,579	2,103	7.7	1,976	2,368	392
調整額	△ 4,509	△ 5,019	△ 510	11.3	58	307	249
合計	22,967	24,560	1,593	6.9	2,034	2,675	641

●各セグメントの減益要因及び調整額の増収要因は、主に親子会社間の取引の見直しの影響によるものであります。なお、親子会社取引は連結上相殺されるため、連結損益への影響はありません。

●セグメント「その他」の増収要因は、非連結子会社の台湾北壽心股份有限公司を2016年3月期より連結の範囲に含めることによるものです。- 17 -



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアムギフトスイーツ**の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2016年経営スローガン

WSR²

ダブルエスアール・ダブルエスアール

WSR × WSR

WSR ワールド サプライジング リゾート宣言

ワールド(W) **世界へ**

サプライジング(S) **ありえないほどの驚きの**

リゾート(R) **非日常(超感動)**を提供する

目標指標 売上高経常利益率 **20%**

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力

当面の重点施策

①インバウンド対策の強化

- ・国内主要国際空港(成田・羽田・関空・札幌など)における免税売店等への販売強化
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応



KYOTO VENETO 関西国際空港



東京ミルクチーズ工場 関西国際空港

当面の重点施策

②海外展開 (海外における事業モデルの構築)

・アジアを中心に直接進出、フランチャイズ方式、合併方式、OEMなど

台湾
直接進出



韓国
フランチャイズ方式



香港
合併方式

シュクレイがハンドメイドデザート社 (香港)との共同出資により、香港に合併会社「ハニーシュクレイ社」設立。(出資比率30%)



東京ミルクチーズ工場

香港で東京ミルクチーズ工場オープン(12月)

当面の重点施策

③首都圏でのWSR化展開の推進

- ・多ブランド展開のシュクレイ 販売力強化によるブランド力の向上
- ・新ブランド(Ivorish、GLACIEL)の確立
- ・グループ各社による催事展開の推進



当面の重点施策

④プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成

- ・美味しさの追求と、少チャンネル・多用途のプレミアム・ギフトスイーツの開発推進
- ・主力商品のリニューアルによるバージョンアップと価格改定



当面の重点施策数値目標

①～③の施策数値目標2018.3期に今期見通しに対して53億円増の100億円突破を目指す

(単位：百万円)

	今期見通し 2016/3期	目標数値 2018/3期	増減
①インバウンド売上	600	2,500	1,900
②海外売上	460	1,500	1,040
③首都圏主要売上	3,640	6,000	2,360
① + ② + ③	4,700	10,000	5,300

①インバウンド売上…国内主要国際空港での売上

②首都圏主要売上…シュクレイ（インバウンド除く）、アイボリッシュ、グラッシェルの売上

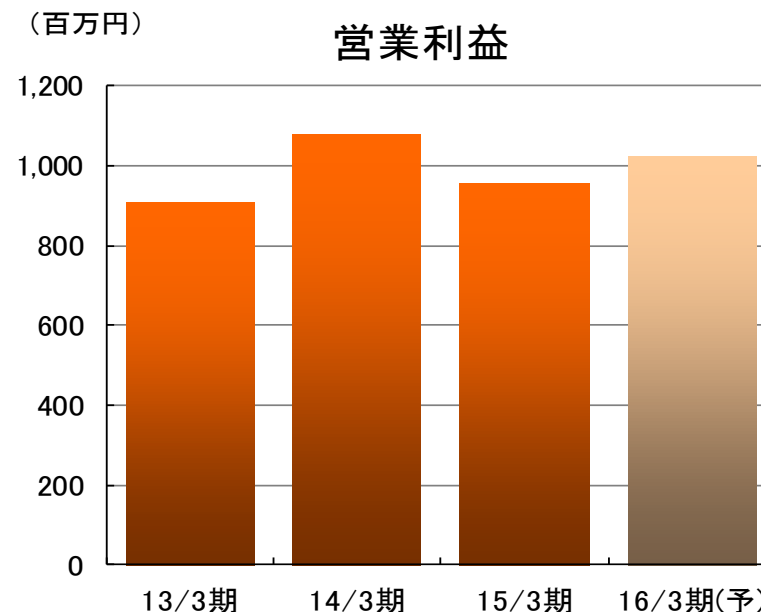
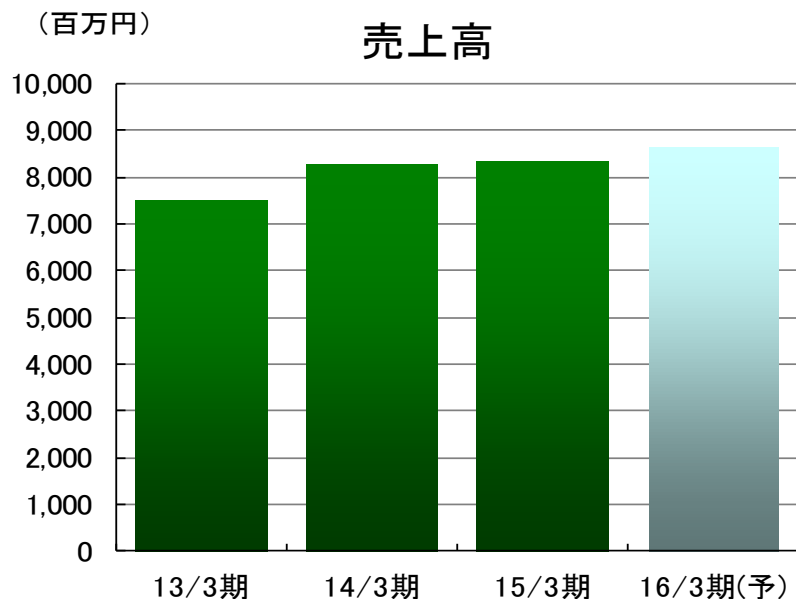
セグメント別概況

- ケイシイシイ
- 寿製菓
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- 但馬寿
- シュクレイ
- その他



《ケイシイシイ》

当期予想:売上高 **8,639**百万円(前期比**+3.7%**)営業利益 **1,022**百万円(同**+6.8%**)



ケイシイシイ

(百万円,%)	13/3期	14/3期	15/3期	対前期		16/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	7,494	8,267	8,331	64	0.8	8,639	308	3.7
売上総利益	4,584	4,913	4,947	34	0.7	5,216	269	5.4
粗利率	61.2	59.4	59.4	△ 0.0		60.4	1.0	
販売管理費	3,678	3,834	3,991	157	4.1	4,194	203	5.1
営業利益	906	1,079	957	△ 122	△ 11.3	1,022	65	6.8

《ケイシイシイ》

LeTAO 更なるブランド価値の向上へ、WSRを推進



- ・イベント商戦でのWSR化展開及び道内インバウンド対策を強化



道内インバウンド 主な対策

- ・数カ国語POP、プライス、コミュニケーションカード
- ・アジアのメディア取材積極受け入れ
- ・小樽全店免税対応レジ導入
- ・免税バッグ販売スタート
- ・海外人財の採用

- ・タイ、台湾の百貨店・高級ショッピングモールにおいて催事を開始



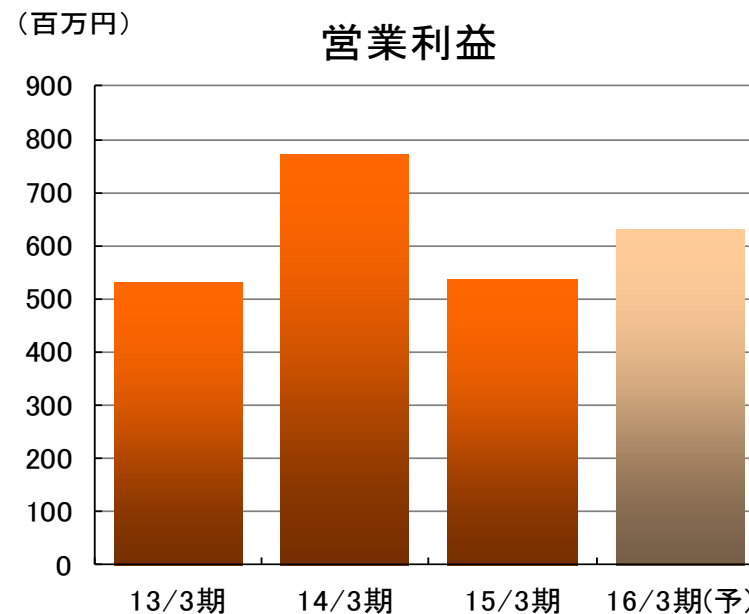
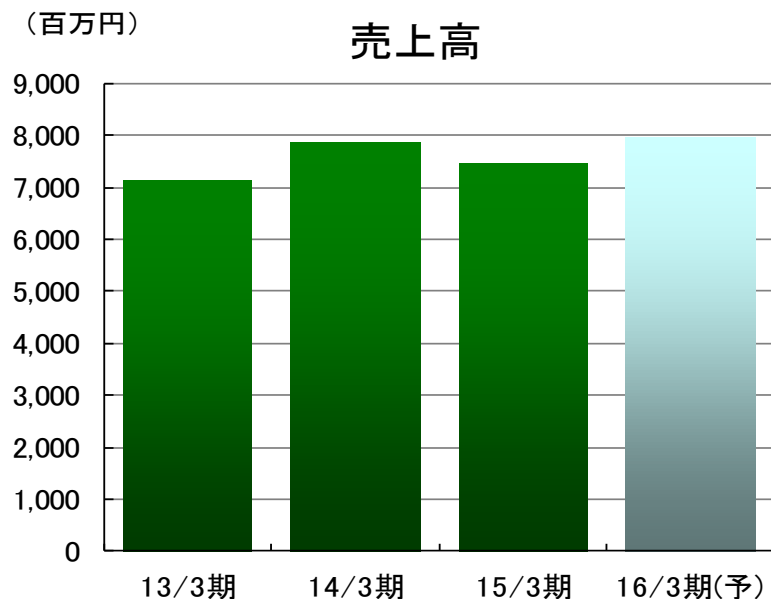
タイ サイアムパラゴン



台湾 新光三越

《寿製菓》

当期予想:売上高 **7,956**百万円(前期比**+6.3%**)営業利益 **631**百万円(同**+17.8%**)



寿製菓

(百万円,%)	13/3期	14/3期	15/3期	対前期		16/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	7,127	7,880	7,482	△ 398	△ 5.0	7,956	474	6.3
売上総利益	2,583	2,975	2,703	△ 272	△ 9.2	2,936	233	8.6
粗利率	36.2	37.8	36.1	△ 1.6		36.9	0.8	
販売管理費	2,054	2,203	2,167	△ 35	△ 1.6	2,305	138	6.4
営業利益	529	772	535	△ 237	△ 30.7	631	96	17.8

《寿製菓》

重点対策：新商品開発・主力商品強化・販路開拓

・販路開拓では、中東ドバイ向けOEM生産・沖縄市場への取引開始



因幡の白うさぎ



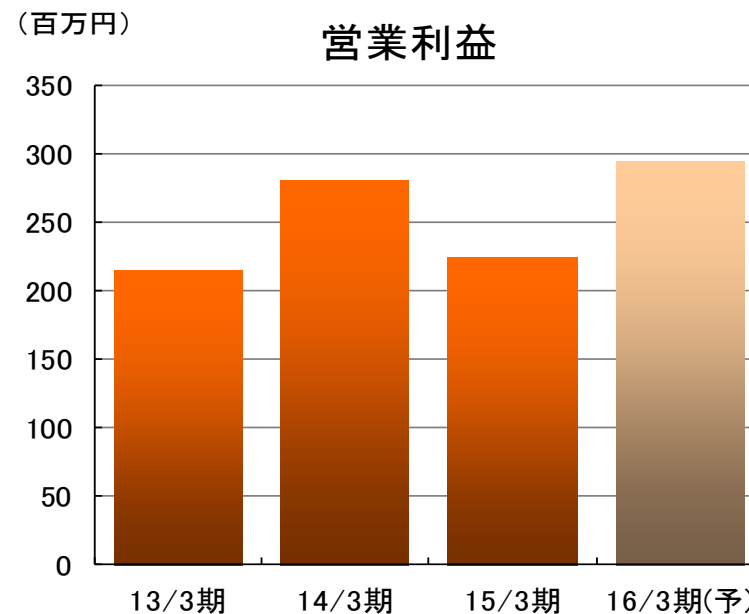
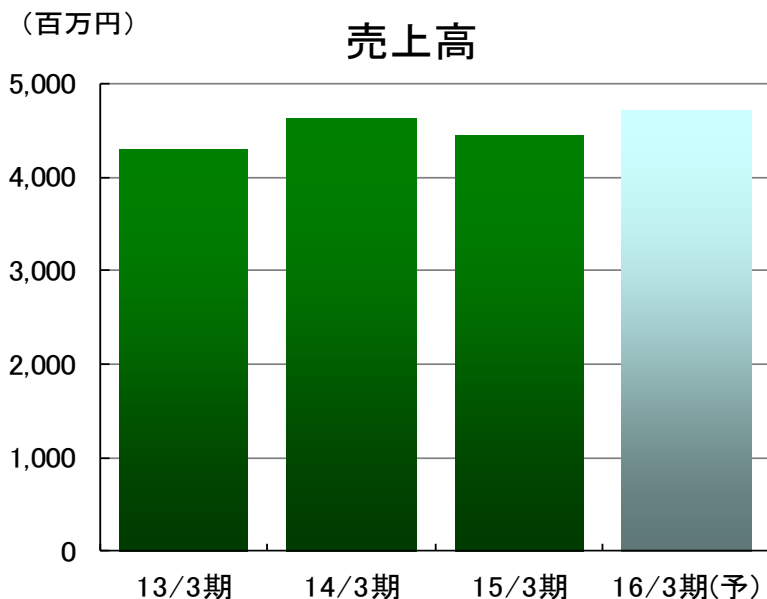
KÄnoZA鳥取シャミネ店
6月リニューアルオープン



KÄnoZA首都圏催事

《販売子会社》

当期予想:売上高 **4,708**百万円(前期比**+6.2%**)営業利益 **295**百万円(同**+31.1%**)



販売子会社

(百万円,%)	13/3期	14/3期	15/3期	対前期		16/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,302	4,619	4,434	△ 185	△ 4.0	4,708	274	6.2
売上総利益	1,283	1,399	1,355	△ 44	△ 3.2	1,468	113	8.3
粗利率	29.8	30.3	30.6	0.3		31.2	0.6	
販売管理費	1,068	1,118	1,130	12	1.1	1,173	43	3.8
営業利益	214	281	225	△ 56	△ 19.9	295	70	31.1

《販売子会社》

交通拠点チャンネル(駅・空港・SA)での展開強化



小倉トーストラングドシャ
名古屋駅



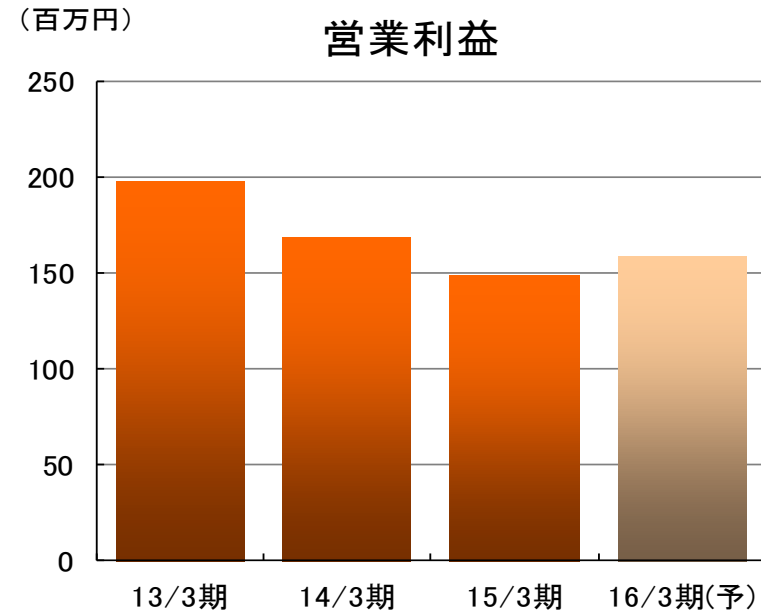
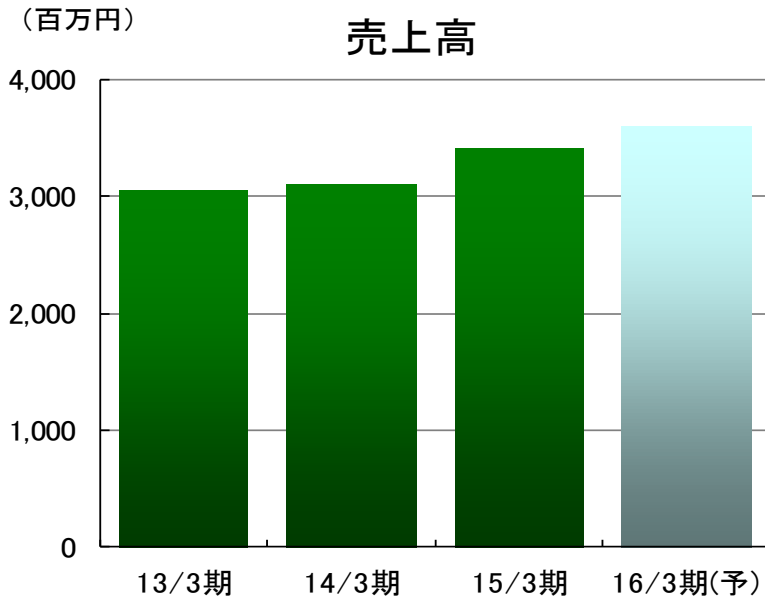
KYOTO VENETO
関西国際空港



まっかな苺のラングドシャ
福岡空港

《九十九島グループ》

当期予想:売上高 **3,594**百万円(前期比**+5.4%**)営業利益 **159**百万円(同**+6.5%**)



九十九島グループ

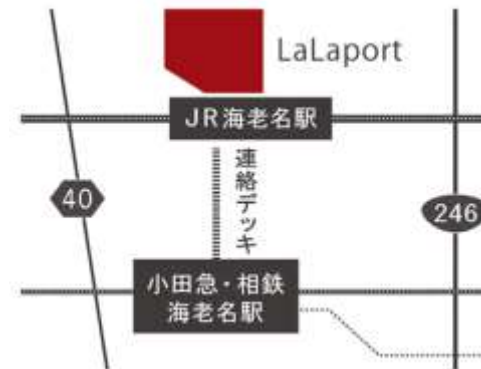
(百万円,%)	13/3期	14/3期	15/3期	対前期		16/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,060	3,104	3,409	305	9.8	3,594	185	5.4
売上総利益	1,196	1,271	1,432	161	12.7	1,527	95	6.6
粗利率	39.1	40.9	42.0	1.1		42.5	0.5	
販売管理費	998	1,102	1,283	181	16.4	1,368	85	6.6
営業利益	198	169	149	△ 20	△ 11.6	159	10	6.5

《九十九島グループ》



フレンチトースト専門店「Ivorish」首都圏での展開

- ・ 福岡、渋谷に続き3店舗目となる「Ivorish海老名」をららぽーと海老名にオープン(10月)



Gift Menu



プレミアムプレーン



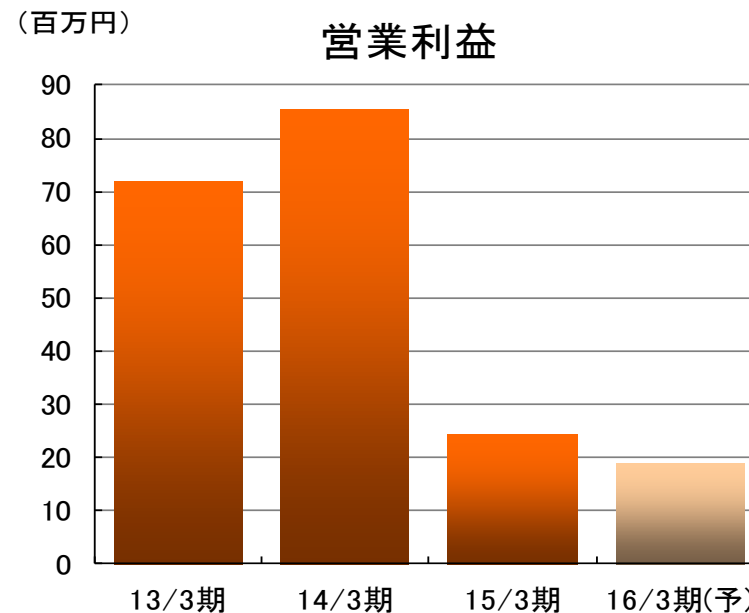
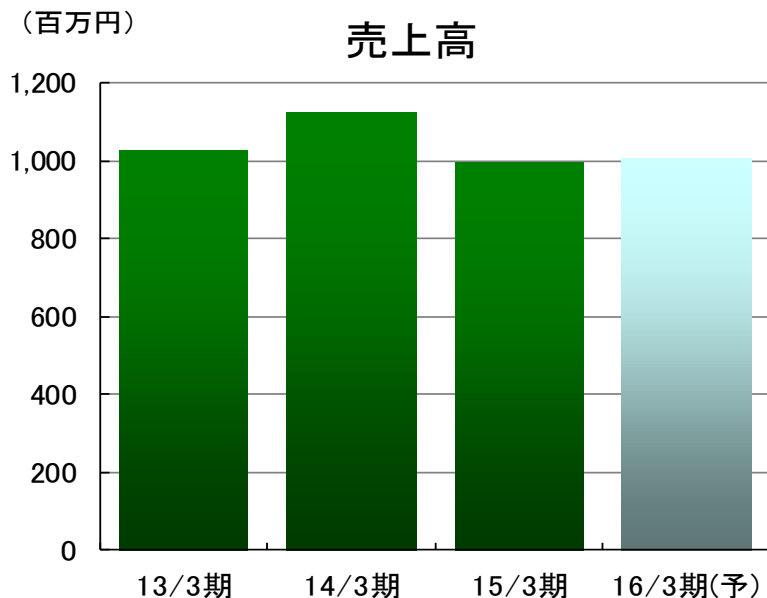
コンテナ



《但馬寿》

2016年1月1日を効力発生日とし、吸収分割により製造部門及びグループ向け営業を寿製菓に移管

当期予想:売上高 **1,005**百万円(前期比**+0.7%**)営業利益 **19**百万円(同**△ 21.7%**)



但馬寿

(百万円,%)	13/3期	14/3期	15/3期	対前期		16/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	1,027	1,125	998	△ 126	△ 11.2	1,005	7	0.7
売上総利益	297	328	274	△ 55	△ 16.6	288	14	5.2
粗利率	28.9	29.2	27.4	△ 1.8		28.7	1.2	
販売管理費	225	243	249	7	2.7	269	20	7.8
営業利益	72	86	24	△ 61	△ 71.6	19	△ 5	△ 21.7

《但馬寿》

2016年1月1日を効力発生日とし、吸収分割により製造部門及びグループ向け営業を寿製菓に移管

遊月亭通販への特化



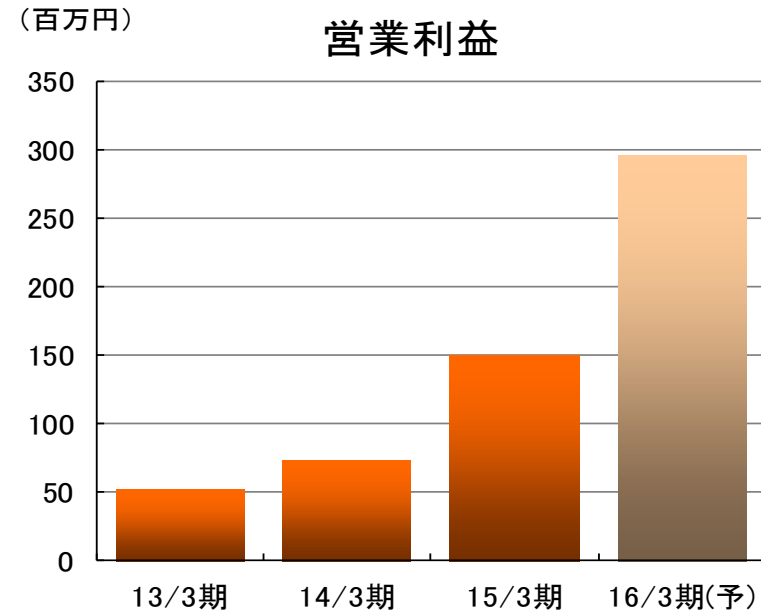
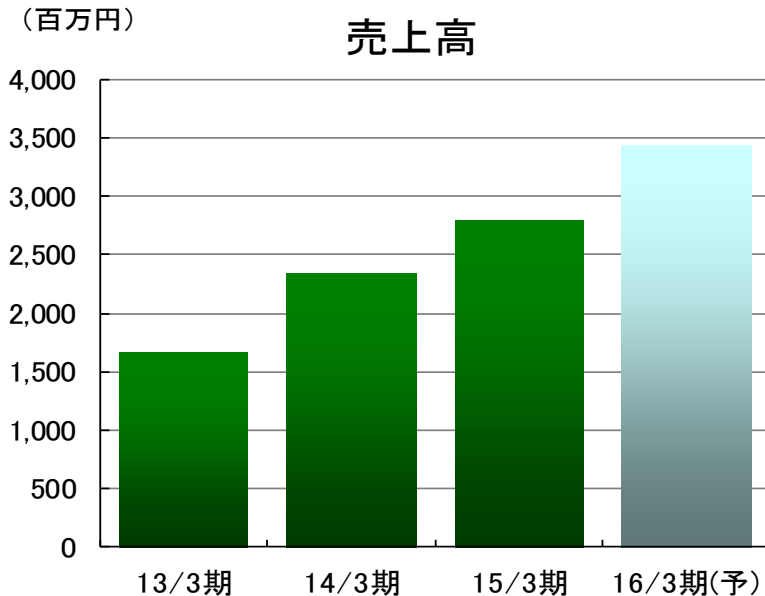
遊月亭
黒豆茶



遊月亭おばあかふえ

《シュクレイ》

当期予想:売上高 **3,431**百万円(前期比**+22.8%**)営業利益 **296**百万円(同**+98.0%**)



シュクレイ

(百万円,%)	13/3期	14/3期	15/3期	対前期		16/3期 (修正予想)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	1,667	2,336	2,795	459	19.7	3,431	636	22.8
売上総利益	862	1,247	1,537	290	23.2	1,944	407	26.5
粗利率	51.7	53.4	55.0	1.6		56.7	1.7	
販売管理費	811	1,174	1,388	214	18.2	1,648	260	18.8
営業利益	52	74	149	76	103.3	296	147	98.0

《シュクレイ》

強固なブランド構築に向け、WSRを推進



東京ミルクチーズ工場



《その他》

純藍

純藍「藍の青汁」通販事業中心に事業モデル確立を目指す





FRANÇAIS

フランセについて

株式会社明治との株式譲渡契約により、2016年1月22日付けで子会社化

投資目的 ・関東圏における展開強化(製造拠点の設置)
 ・「フランセ」ブランドの継承(ギフト・土産販路拡大)

<会社概要>

名称 株式会社フランセ
 所在地 神奈川県横浜市金沢区福浦二丁目9番4号
 設立年月 1971年9月
 事業内容 地盤である神奈川県及び関東を中心に、ミルフィユをはじめとする洋菓子類の製造販売を行っております。
 製造拠点 横浜・浜松の2拠点
 販路 百貨店、駅ビル・専門店、量販店、お土産経路など関東圏を中心に全国に展開
 従業員 約280人(パート、契約社員含む)

<直近3年間の業績>

(単位:百万円)

	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
売上高	5,126	4,764	4,703
営業利益	41	△111	△48
純資産	173	39	34
総資産	2,796	2,771	2,793

フランスについて



FRANÇOIS

<今後の見通し>

当期の業績に与える影響は現在精査中。(2月～3月の2か月分が連結対象)



ミルフィユ



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2015年9月30日現在)

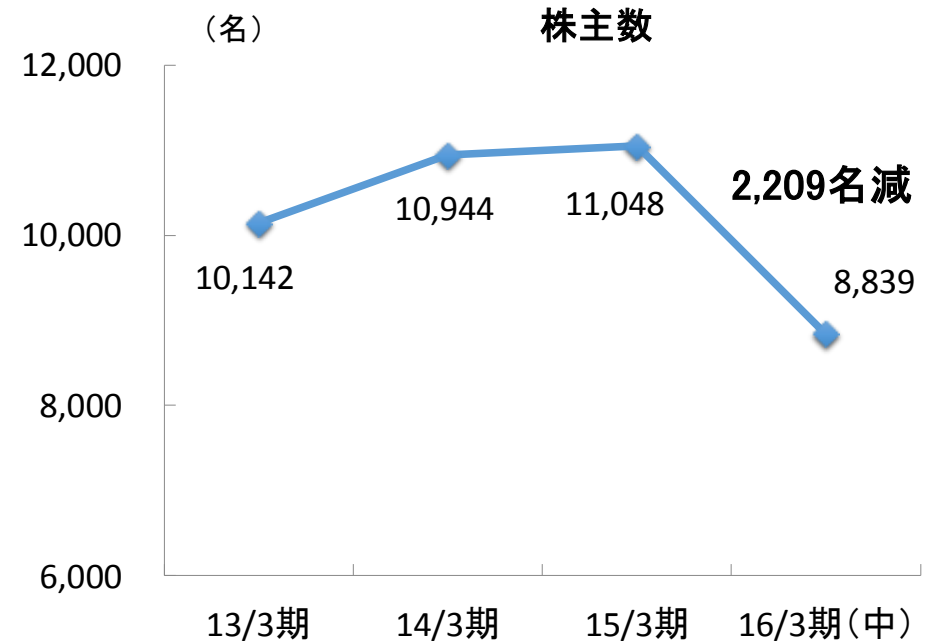
■発行可能株式総数 30,400,000株

■発行済株式総数 10,373,840株

■単元株式数 100株

■株主数 8,839名

(対前期末比 2,209名減)



■大株主(上位5位)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	3,100,000	29.88
寿スピリッツ従業員持株会	358,800	3.46
株式会社山陰合同銀行	300,000	2.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	257,500	2.48
とりぎんリース株式会社	254,000	2.45

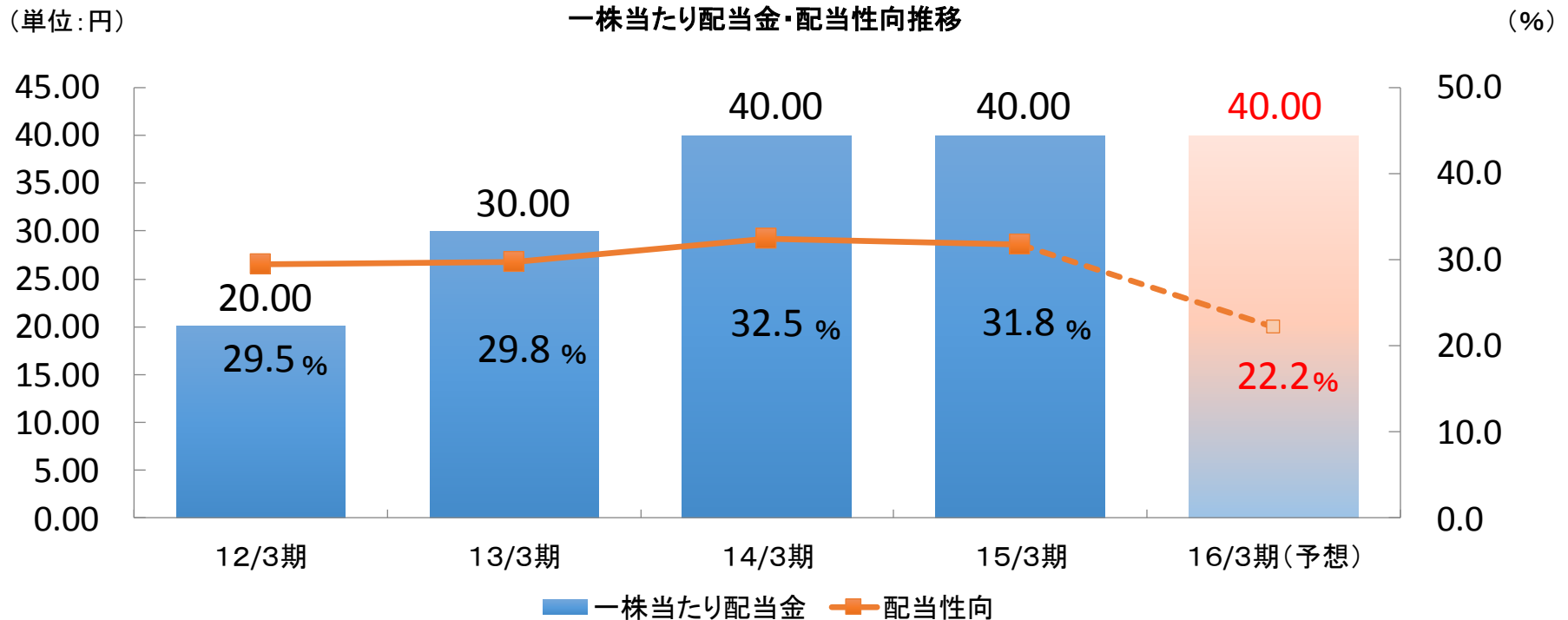
注)出資比率は、自己株式511株を除く

株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2016年3月期1株当たり配当金予想 **40円**



株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

100株以上ご所有すべての株主様に2,000円相当の自社グループ製品を贈呈

200株以上ご所有すべての株主様に4,000円相当の自社グループ製品を贈呈
更に

1,000株以上ご所有の株主様に3,000円分のグループ直営店舗優待券を贈呈
(優待券の代わりに指定商品への交換も可)

【2015年度の株主優待商品】

100株以上ご所有の株主様
2,000円相当の自社グループ製品



200株以上ご所有の株主様
4,000円相当の自社グループ製品



【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様





《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体10名・連結1,004名
グループ会社	国内16社・海外1社 計17社
連結売上高	230億円(2015年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月（平成10年）創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月（平成17年）営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月（平成18年）寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月（平成23年）東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月（平成24年）株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月（平成24年）台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月（平成25年）東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月（平成26年）東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月（平成26年）東京都港区に純藍株式会社を設立。



小樽洋菓子舗ルタオ



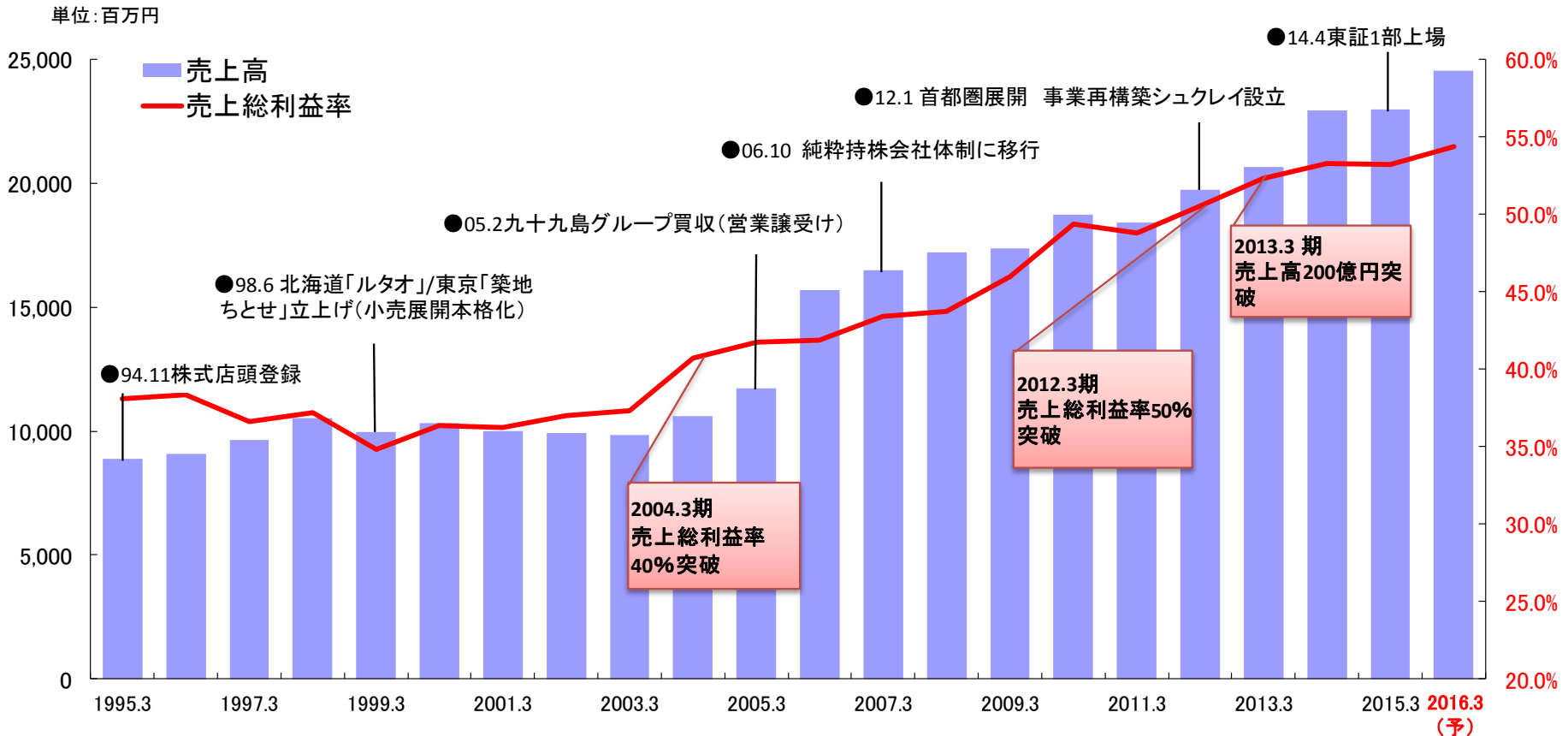
“ドゥーブルフロマーージュ”



“九十九島せんぺい”

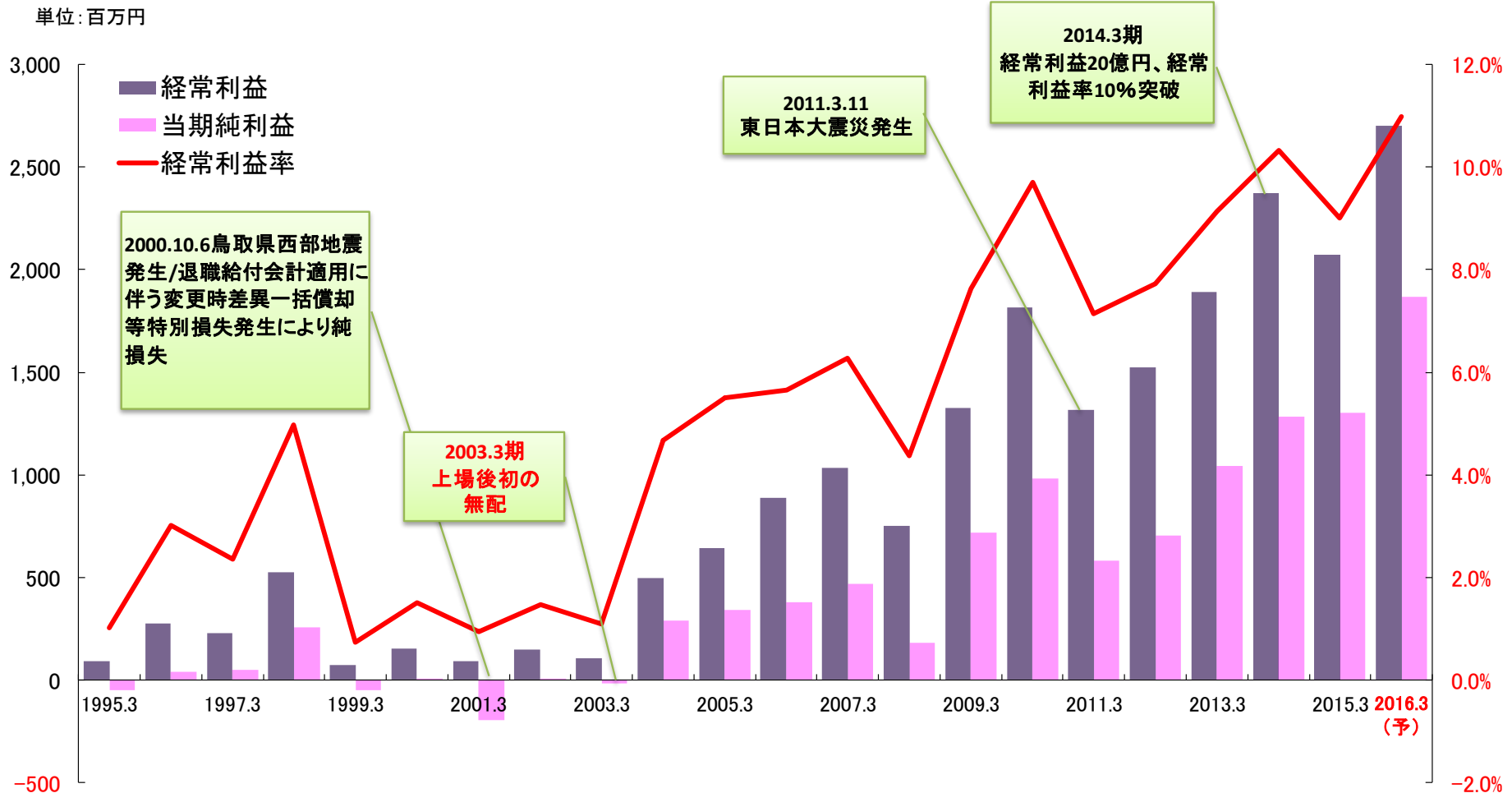
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
 組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

2014.3期 売上高経常利益率10%突破、高い収益性を実現



経営理念について

経営理念

喜びを創り 喜びを提供する

寿スピリッツグループは、「**喜びを創り喜びを提供する**」を経営の基本理念に、これをすべての事業活動の指針として、地域社会に貢献する企業集団として事業活動を行っております。

シンボルマーク



「寿スピリッツ」社名の由来

当社グループが積極果敢で熱い精神を引き継ぎ、
これからの時代を全力で切り拓き、
より大きな喜びを創造していく会社へ。

そのような念いで新社名『寿スピリッツ株式会社』を制定し、
シンボルマークには

社員一人ひとりの気持ちが重なって“輪”になるという意味が込められています。

基本ポリシー

基本ポリシー

今日一人、**熱狂的なファン**を創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。



経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



主要ショップブランド



お菓子の **壽城**
(山陰)

遊月亭
(兵庫)



(北海道)

Ivorish

Premium French Toast

(福岡・東京)



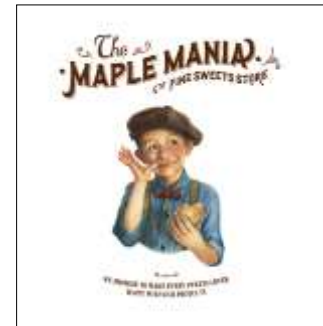
KONDITIONEIREI KOBE

(神戸)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(東京)



(佐世保・福岡)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
★ Nippon's Sweetly Modern ★

「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



お菓子の **壽城** 「とち餅」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「九九島せんべい」



KONBITORE KOBÉ ● 「神戸クリームチーズケーキ」

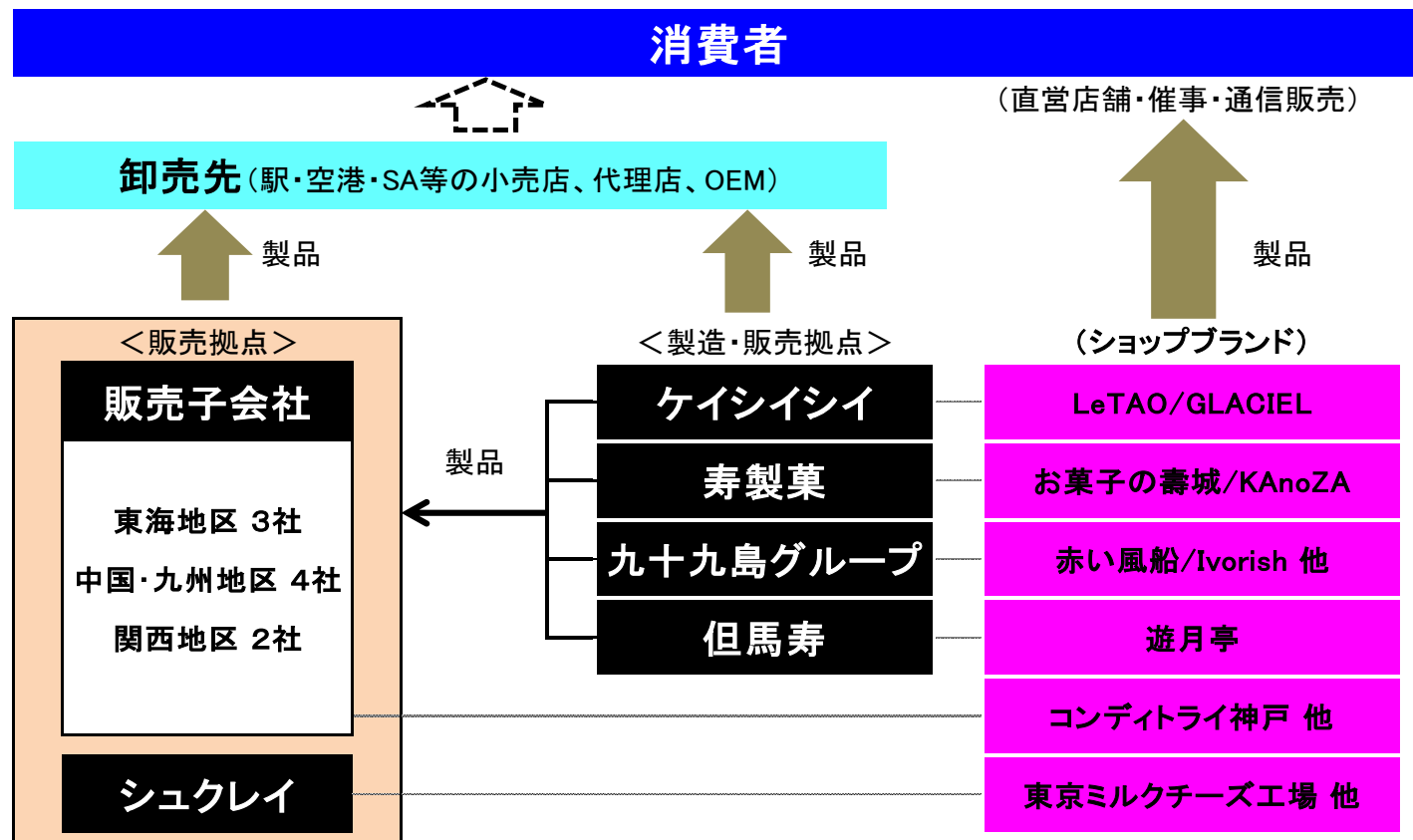


事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社17社(国内16社、海外1社)で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。